

第7章 環境放射能水準調査結果

昭和63年度から、文部科学省（平成25年4月からは、原子力規制庁）からの委託を受け、環境放射能の監視を継続して行っている。平成24度の調査結果は表7-1、7-2のとおりであった。

平成23年3月12日に発生した東京電力株式会社福島第1原子力発電所の事故を受け、平成24年4月から、モニタリングポストを4局増設し、県内5局で空間放射線量率を常時監視している。

環境試料では、土壌から人工放射性物質であるセシウム137が検出されたが、過去の測定値の範囲内であり、測定を開始した昭和63年から減少傾向である。

表7-1 空間放射線量率の測定結果

測定年月	大分市高江 (衛生環境研究センター)			大分市佐賀関 (大分市佐賀関大気測定局)			佐伯市 (大分県立佐伯鶴岡高校)			日田市 (大分県日田総合庁舎)			国東市 (大分県立国東高等学校)		
	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値
平成24年4月	49	62	51	45	62	47	50	68	53	36	59	38	37	56	39
5月	49	64	51	44	62	47	50	66	53	35	53	38	36	53	39
6月	49	74	52	44	72	48	49	81	54	35	58	39	37	81	41
7月	49	98	52	44	100	47	48	106	53	36	84	40	36	84	39
8月	49	77	50	44	57	46	48	74	51	36	76	38	36	54	39
9月	49	64	51	44	66	46	49	69	52	37	55	39	37	55	39
10月	49	71	51	45	81	47	50	78	53	36	63	39	37	55	39
11月	49	67	51	45	73	47	50	83	53	37	60	39	35	63	39
12月	49	84	51	44	92	47	50	52	51	36	84	40	36	74	39
平成25年1月	49	68	51	45	69	46	50	74	53	36	59	39	36	61	39
2月	49	66	51	44	81	47	47	84	52	36	90	40	36	66	40
3月	48	73	50	44	93	47	47	68	50	36	83	39	37	74	39
年間値	48	98	51	44	100	47	47	106	52	35	90	39	35	84	39

備考1 nGy/h:1時間あたりのγ線の吸収エネルギー量

表7-2 環境試料中の放射性物質濃度

試料名	試料数	採取場所	単位	核種名 I-131	核種名 Cs-134	核種名 Cs-137	
大気浮遊じん	4	大分市	mBq/m ³	N.D	N.D	N.D	
大気降下物	12	大分市	MBq/km ²	N.D	N.D	N.D	
上水	1	大分市	mBq/L	N.D	N.D	N.D	
土壌	(0～5cm)	1	竹田市	Bq/kg・乾土	N.D	N.D	54
	(5～20cm)	1	竹田市	Bq/kg・乾土	N.D	N.D	13
精米	1	宇佐市	Bq/kg・生	N.D	N.D	N.D	
野菜類	2	宇佐市	Bq/kg・生	N.D	N.D	N.D	
牛乳	1	竹田市	Bq/L	N.D	N.D	N.D	

備考1 Bq: 一秒あたりの放射性核種の崩壊数

2 N.D: 検出されない